



特集 この町の行く末をどうするのか

●国政の場では自公政権の憲法無視が続き、格差社会の色合いもますます強まる中、日頃わが町の行政刷新に取り組んでおられるお三方に、町の未来を語りあっていただきました。 司会は「弓削通信」平山です。

七月十日には参院議員の改選が行われ、また本号が皆様の手に渡る頃は、様々な変化が現れているかもしれません。我が町も合併四期目に向けどうなっているのか。そのあたりを話し合ってみました。

平山 こんには。ことしは選挙の年です。国政では七月に参院議員改選、十月には上島町の町長と議員選挙があります。

宮脇さんは先日ふたたび町長選挙に挑戦することを表明されました。町長は町の行く末にとっても大きな影響を及ぼす存在なのは当然ですが、議会も同じだけの大きな存在であると、わたしは考えています。

実は宮脇さんと、ここにおられる濱田さん、それと私が代表世話人となって、七年前に「上島町自治研究会」(自治研)を立ち上げました。目的は合併したこの町で、住民自治の気運を高めるといこと。たれでも自由に参加できる懇話会を毎月。その中から問題提起された案件に関しては、必要とあれば行政への働きかけも行うというものでした。

宮脇 馨さん(町長挑戦者)



最初に取り組んだのが町のCATVへの加入率アップをはかるため地域の人たちの懇談会。話し合いの結果は、当時発足したの自治会連合を通じ担当部署にとどけました。

途中から宮脇さんの紹介で大西さんが自治研に参加し、そうこうしているうちに宮脇さんは前回の町長選挙に挑戦。惜しくも敗れましたが、大西さんは議会議員になって今日があります。

この因縁の四人が、このたびまたそれぞれの立場で町政刷新にむけて力を尽くしたいと思っているわけです。

* * *

平山 そこで宮脇さんには単刀直入に伺いたいのですが、今の町政で何が一番問題だと思っていますか？
宮脇 全体としていうならば、三期にわたる上村町政が公正、公平な町政ではなかったことで。業者選定や職員採用、人事



濱田高嘉さん(町議)

議会や自治会と協力しながら進める行政に建て直し、公正・公平な町政を実現

異動など含めた職員の働く環境など、いくつも問題があります。合併してからこの十二年間に百四十人余りの退職者がいます。そのうち約半数が早期退職。中には自殺者も出ています。

以前、いきなスポレクでの公金使い込みもあったけど内部処理ですませてしまっただけでしょ。少子・高齢化対策についても国の政策の後追いしが殆どで独自の取り組みがない。

町長は財政の健全性を事あるごとに誇りますが、町民にはその恩恵が実感できない。

平山 原因はなんでしよう？
宮脇 最近の例で言えば、議会推薦の監査委員を三期目後半から受け入れてない町長をみればわかると思います。やはり町長の横暴だと思います。

町長を目指す私の口から言うのもなんですが、首長の立場からして議会の決定を尊重しないのは二元代表制を否定するに等しい行為です。
平山 どうします？
宮脇 私に行政の舵取りをまかせていただくしかありません。

今のままでは議会と協力しながら住民と密着した行政は出来ません。原点に返ってもう一度住民と密着した、つまりオープンな行政に建て直す必要があります。
平山 職員の気持ちの切り替えが必要では？
宮脇 そうですね。職員が理事者から不当な扱いを受けないためにも、組合(自治労※)に加入することを望むなら自主性に任せます。

ちなみに県内9町のうち職員組合がないのは愛南町と上島町だけです。
大西幸江さん(町議)



大西幸江さん(町議)

平山 町長権限が使いにくくないませんか？
宮脇 町長権限というのは単に職務権限ですよ。役所に君臨し、職員を威圧してどうこういうようなものではありません。

それに町長は選挙で変わります。ですが職員は、ふつう定年まで勤めるわけですよ。住民サ

ービスを公平に提供するためにも、職員の将来のためにも、だが町長になって気持ちよく働ける環境、労働者としての権利や自由が守られる環境を作り維持するのが正しいありかたじゃないでしょうか。

平山 大西さんはどうですか？
大西 役所は「縦割り行政」と言われるように、横のつながりが中々うまく機能してないように思います。

横のつながりや縦のつながりを調整、判断していくのが上に立つ責任者であり、その頂点にいるのが町長です。住民の声を取り入れるかどうかは、町長の姿勢にかかわってきますね。

宮脇 職員の仕事の結果責任はすべて町長にあるというのが私の姿勢です。

* * *
平山 話変わりますが、宮脇さんの描く町の未来像を一言でいうと何ですか？
宮脇 町民にとってオンラインワンの安住の地、でしょうか。

平山 というところ？
宮脇 ひとつは、高齢化に対応した介護施設の充実が欠かせません。すでに「生まれた島で一生を」の理念のもとで運営されているNPOの小規模多機能型施設もあります。そういう部分をふくらませないと。

平山 介護には医療施設の充実が欠かせません。
宮脇 その通りですね。岩城橋が架かればまた交通体系も変わらざるを得ない。そこを見据えて我が町の介護政策、あるいは日常的な医療をどう組み込んでゆか。大きな課題です。町民の皆さんの知恵をお借りたいです。

介護には人手もいるし、外から高齢者を受け入れるようになるとその家族の往来も増えます。人口減とそれをどうつなげられるか。むつかしいですが、人口減を乗り越えないと町の未来はないですからね。

平山 ふたつには？
宮脇 全国から集まれ上島町オンラインワン教育。

平山 ほう？
宮脇 すでに実践して成果のあがっている自治体もあるわけですが、小中高一貫校の実現。僻地ながら上島町は県立高校と国立商船高専のある町です。しかしいずれの学校も少子化のあおりで年々志望者が減る。ですので、特に県立弓削高校は小中高一貫校に組み込んで、従来の教育プラス特殊科目を導入し、社会貢献できる人材の基礎作りを推進したい。(裏面にづく)

※自治労(じちろう)
 「全日本自治団体労働組合」の略称。日本の地方自治体職員などによる労働組合の連合体。全国2741単組、約85万人の組合員が結集する産業別組合。

(表面からつづき)
大西 私は議員に出たきつかけが教育なので、教育の充実はいいですね。学校だけにどまらず、町のあらゆる部分で必要です。今は、スポーツや文化活動も縮小傾向ですし、生涯学習にも力を入れられるようにしたいですね。

町全体に学びたい意欲、学ばせる環境を作る施策を充実させるの底上げをして、一生を豊かに暮らせるようにしたいです
宮脇 先に話にも出ましたが行政力の高度化、地場産業の強化、情報発信、交通網の再編、課題はいろいろありますが、これらはすべて、我が上島町がオンリーワンの安住の地になるための取り組みです。

そういう諸々の施策がうまくかみあってこそ、われわれはこの町をオンリーワンの安住の地として選べるのだと思います
平山 町の人口維持のためには高齢者対策、移住者対策は切っても切り離せませんし、高齢者の呼び込みが若い人を呼び込むという観点もありです
宮脇 その方法をじっくり考えたいです

同時に大事なことは、いまこの時点でこの地で事業を営みながら頑張っている若いひとたち。その生業が持続するには、それぞれの業種に応じ、行政としてできるサポートをしてゆかねばなりません。たとえば農業、漁業では、やはり都市部と離れたこの地で生産から製造、加工販売までの流れをつくりたい。当然その現業に携わっている方々の協力なくしてはできません。その延長線上に、地産地消の独自の経済圏を作り上げてゆければ、と思うのです。

極論すれば電力から食料までこの町でまかなう。そういう気持ちに町民のみなさんが心をひとつにし、実現できれば、まさにオンリーワンの安住の地ではないでしょうか。

平山 なるほど。
宮脇 です。です。行政職員には自分の仕事だけでなく皆で問題を共有し、いろんな視点から解決策を探してゆく考え方になってもらい、出来る限り権限委譲して、住民の皆さんとの接触の場をたくさん持つてもらう。

小さな自治体であることを活かした小回りの利く行政サービスへと進めてゆかねばと思っております。

大西 仕事には必ず流れがあり、

計画から完成までつながっています。上に立つ責任のある人は全体に目を配りながら、流れが滞らないように動かしてゆかねばなりません。民間企業ではどこでもそうやっています。行政でも同じですよ。

平山 そうです。
濱田 仕事の流れの一端で職員が住民と話し合うのはよいことですが、その際、やはり言われるように権限とか、その場で「こうします」と言えないと住民は食いついて来ませんよ。まあ仮に地域番の職員を置くようなアイデアがあったとしても、中身が伴わないと機能しない。中身とはやっぱり権限なんです。現状は部長課ですらほんとの意味での権限というか、決定権が

オンリーワンの安住の地。それはだれかにお任せの姿勢では実現できません。



区長さんたちも地域貢献の気持ちより強くなると思う。
平山 定年前にやめて行く職員もたくさんいるけど、臨時職も含めると人数はそう減っていないのでは？
パソコンの活用で事務処理は速くなっていると思うのだが、なぜか臨時職の募集が多い。

ないのでは？。
宮脇 職員への権限委譲というのは、現状の役所の仕組みでは一挙にもってゆける話ではないと思うのですが大事なテーマです。私は実質的な決裁は課長レベルで充分だと思います。

一方で住民側というか自治会側にも、自治会長の裁量で少々のことは自治会でやっつけてのける予算付けができる仕組みをつくりたいですね。

平山 町民補助制度なんかもあるけど、あの予算のいくつかを自治会活動で消化してもらうのもありだと思う。自治会連合で取り組む事業を話し合いできてもいい、優先順位をつけてやってゆくとか。

宮脇 もちろん税金を使うわけですから収支報告など最低限の計画と報告は出して貰います。そうすることで自治会の独立性も保てます。役所と自治会が一緒に進められるようになれば互助になりますからいい。

平山 その点について濱田さん、なんかありますか？
濱田 自治会については、全町共通の自治会・区長制度を、行政も協力して再構築し、そのうえで自治会ができることは自治会でもしてもらうようにすれば、

違うところでエネルギーが費やされているように見えて仕方がないです。
平山 どうも話が職員のことばかりになってしまいました。それだけ町の運営は職員の肩にかかっているということなのでしよう。いままで出た話とは別に課題や目指すもの、実現させたいと思ってることは何ですか？

宮脇 緊急課題としては未解決の町内海上・陸上交通網の再構築がありますね。たとえば弓削では尾道航路の再復活、生名では生名渡船事業の見直し、岩城では長江航路の最終便をもう一便増やす。魚島では、いま魚島地区住民だけに適用している運賃助成を町民全体に拡大するなど、町内交通格差の是正です。
平山 大西さんは？
大西 子育てしやすい環境づくりと教育の強化です。手続きや送り、学童などちよつとしたことで負担が軽くなることがあります。

学校も含めた図書室の機能強化をして学習意欲の育成にも努めたいです。時間がかかりますが小さくてもできることから手を付けていきたいです。
平山 濱田さんはどうですか？
濱田 観光立町を掲げるなら、上島町だけが持っている歴史文化遺産、具体的には東寺百号文書と宮浦（みやうら）製塩遺跡に特化したプログラムや施設を生かした観光振興を実現させたいですね。

平山 今日は長時間ありますがどうございました。課題はたくさんありますが力をあわせて町政刷新に取り組んでゆきましょう。(対談実施日・28年6月16日。場所 やよみ亭)

人事の面では、町は子育て世代の労働環境を配慮するとか言いながら、現実には子育て世代の女性職員が、居住していない支所に配属されたりして、子どもの面倒を見にくいう状況です。せめて保育園、小学校ぐらいの間は居住地域に配属してあげてほしい。担当者もころころ変わりますしね。

平山 組織や配属の問題、いろいろ出てきましたけど、ざっくり言って組織の問題なの？、運用の問題なの？
宮脇 運用の問題だと思います。基本的にはその島のことはその島の中で素早く片付けたい。イベントも、なんでこんなに役場職員がかり出されなければならぬのか。本来の職務とは

●緊急課題は海上・陸上交通網の再編町内交通格差の是正 ●子育てしやすい環境づくりと多方面の教育の強化 ●小さな自治体であることを活かした行政サービスの実現 ●上島町独自の歴史文化に特化した観光振興。

今月のやよみ亭映画研究会
無料参加自由 7月15日(金)夜7時~
【不思議なクニの憲法】
監督・松井久子 出演・瀬戸内寂聴ほか
●日本国憲法について一般市民の目線から多角的に考察したドキュメンタリー映画。
●憲法から主権者である国民の基本的権利が排除されようとしている今、改めて憲法に触れてみませんか。

やよみ亭「映画研究会」と「出よう会」8月は休会
やよみ亭 出よう会
毎月第2(やよみ亭)第3(土生集会所)火曜日に開催しています。
●地区のお年寄り連の交流の場です。お茶や手遊び、工作などをします。
●7月19日は土生集会所で開催。

